

第 17 回 学校法人日本医科大学医療安全監査委員会議事録

- I. 日 時 令和 7 年 7 月 10 日（木）午後 4 時 00 分 ～ 午後 5 時 20 分
- II. 開催方法 対面及び Webex によるハイブリッド開催
対面開催場所：日本医科大学健診医療センター 2 階 第一会議室
- III. 委 員 長島委員長、小泉委員、櫻田委員、豊田委員、吉田委員
（対応者又は病院側）附属病院医療安全管理部 浅井部長（副院長）、山口看護師長、伊藤看護係長

委員長が開会を宣言した後、議事に先立ち、今回は委員の都合によりハイブリッド開催とした旨の説明があった。引き続き、令和 7 年 6 月 1 日付で附属病院医療安全管理部長に就任した浅井部長の紹介があり、委員長からの指示により、事務局から配布資料の確認を行った。

IV. 議 事

1. 附属病院医療安全管理体制について（令和 6 年度下期）

委員長からの指示により、事務局から、日本医科大学附属病院医療安全管理委員会（第 295 回～第 300 回）議事録よりインシデント報告、副作用・合併症報告及び検討事項等を抜粋し、まとめた資料 1 に基づき、令和 6 年度下期の医療安全管理体制について報告がされた。以下の事項について委員から発言があり、医療安全管理部長からの説明・回答をもって確認を行った。

- ・臨時医療安全事象検討会議の議題となった事例について

- 転倒事例については、施設面の改善及び再発防止に向けたスタッフの対応を行っている旨が説明された。女性患者のデリケートゾーンを対象とした診療行為については、患者への十分な説明を行い、同意を得た上で、男性医師による診察においては、女性看護師の同席を必須とするよう周知している旨が説明された。

- ・インフォームドコンセントの対応について

- 医師の働き方改革に伴うインフォームドコンセントの対応の見直しについて、現在は原則として電話での対応は行っていないが、緊急時や休日・夜間の対応を要する事例が多いため、今後は状況に応じてテレビ電話等の利用についても検討を要する旨が確認された。

- ・転倒転落と身体的拘束について

- 転倒転落の防止と身体的拘束の最小化の両立を図るため、転倒転落防止マニュアルに沿った対応がなされているか、また、現実的なマニュアルとなっているかを確認し、適宜見直しを要する旨が確認された。

2. 令和 6 年度特定機能病院相互立入の実施結果について

事務局から、資料 2 に基づき、令和 6 年 10 月 29 日に実施した特定機能病院相互立入について報告がされた。以下の事項について委員から発言があり、医療

安全管理部長からの説明・回答をもって確認を行った。

- ・インシデントレポートについて

→研修医からのインシデント報告が少ない傾向にあるため、報告を促す指導を行っている旨が説明された。

- ・医療従事者に対する患者からのハラスメントについて

→病院として迷惑行為の定義を明確にすることや患者相談部門のスタッフの専門性を高めることの重要性が確認された。

3. 次回の議題について

事務局から、資料 3 に基づき、今回は令和 7 年度上期の日本医科大学付属病院の医療安全管理体制及び医療法第 25 条第 1 項の規定に基づく立入検査の実施に関する報告を主な議題とし、状況に応じて調整の上、院内のラウンドを行うことが確認された。

4. その他

- ・災害対応について

配布資料に基づき、日本医科大学付属病院における災害対応の状況について報告があり、災害時の指揮命令系統、休日・夜間体制及び情報・連絡システム等について確認された。

5. 結果

- ・対応、改善を要する指摘事項は特になし。

【配布資料】

- ・資料 1 令和 6 年度下期 医療安全管理委員会報告内容（第 295 回～第 300 回）
- ・資料 2 令和 6 年度医療安全相互ラウンド実施報告書（本院・実地訪問用）
- ・資料 3 令和 7 年度医療安全監査委員会開催スケジュール
- ・資料 4 日本医科大学付属病院 災害対策マニュアル
- ・参考資料 1 第 295 回～第 300 回医療安全管理委員会 議事録、臨時医療安全事象検討会議 議事録（令和 6 年 8 月 21 日、令和 6 年 12 月 24 日開催）
- ・参考資料 2 第 16 回 学校法人日本医科大学医療安全監査委員会 議事録

以 上